



18周年記念誌



りんりんと市内NPO法人のあゆみ

特定非営利活動法人りんりん





# 目次

CONTENTS

あいさつ／理事長 村上真喜子	2
祝 辞／半田市長 榊原純夫	3
理事・監事あいさつ	4・5・6
りんりん18年のあゆみ	7・8
活動の歴史①(1994年～1996年)	9
活動の歴史②(1997年～1999年)	10
活動の歴史③(2000年～2001年)	11
活動の歴史④(2002年～2003年)	12
活動の歴史⑤(2004年～2006年)	13
活動の歴史⑥(2007年～2008年)	14
活動の歴史⑦(2009年～2011年)	15
現在のりんりんの活動の様子(2011年～)	16・17
NPOってなあに?	18
市内NPO一覧	19
半田市NPOマップ	20
りんりん事業一覧	21

あいさつ



理事長

## 村上真喜子

1994年5月18日、半田市の7人の女性が東海市にあるふれ愛の事務所を訪ねました。困ったときはお互い様と助け合う会員制・有償制の非営利活動をしていたふれ愛のような団体を半田市にも作りたいて考えていた人たちでした。当時も今も代表を務めていらっしゃる佐々木幸雄さんから、思いがけない相談がありました。「明日半田市民病院を退院する高齢の独居男性からふれ愛の支援を受けたいと依頼があるが、あなたたちで同じ市内のその方を支えませんか」ということでした。翌日その方が帰宅するのを玄関先で待って、すぐに支援が始まったことがりんりん誕生のきっかけでした。設立総会を迎える迄7か月間伴走して下さった佐々木さんのご恩は忘れられません。

1995年1月17日、阪神淡路大震災が起き、1月29日、任意団体半田市在宅介護家事援助の会りんりんの発会式が雁宿ホールで行われたその会場の一角で会員手作りの切干大根等を販売し、その売上金を被災地に送ったことが思い出されます。5年間無償で民家を貸して下さった竹内克禮さんのご恩も忘れられません。

1999年7月7日、市内で初めて特定非営利活動法人りんりんとして認証され、2000年4月からはそれまでのたすけあい活動に加えて介護保険事業も行うようになりました。

二度目の事務所がいよいよ手狭になり、2004年12月12日、三度目の拠点を新築したことも特筆すべきことですが、地主さんに出逢うまで辛抱強く同行して下さった会員さんのご恩は忘れることができません。

2008年9月20日～10月13日、第1回童話の村秋まつりが開催され、矢勝川の土手を赤く染める彼岸花を見物しようと訪れる人たちに、お休み処を設けておもてなしをしました。岩滑区の区民や商店、観光協会、市の商工観光課そしてりんりんも一緒になって企画し、昨秋で4回を重ねました。

2011年10月～2014年3月まで岩滑区が日本生命財団の助成金をいただいて行う「防災まちづくりから安住のまちづくりへ～地域が連携して進める見守り社会実験～」にりんりんも参加しています。ふり返ると小さなひと栗の波紋が18年かけて地域へ広がったのは大勢の方々のご支援のお陰と感謝の気持ちでいっぱいです。

昨年3月11日、東日本大震災が起こりましたが、遅々として進まない現状に被災された方々のことを思うと胸が塞がります。しかし一人ひとりの小さな一歩が大きな力となって必ず復興することを信じています。

小さな一歩の積み重ね





半田市長  
梶原純夫

「絆」-2011年を表す漢字に選ばれた文字です。「やっぱり」と思われた方が多かったのではないのでしょうか。私もその一人です。

昨年3月に東日本を襲った大震災では、大切な人や住み慣れた家、仕事など、かけがえのないものを失われた方々が沢山いらっしゃいます。間もなく1年が過ぎようとしていますが、被災地では、今なお不便な生活を強いられており、福島第一原発の事故の影響は全国に及んでいる状況です。

そのような中で、唯一、心に希望の灯をともしてくれるのが、人と人の温かい絆であります。あれほど大きな悲しみのなかであって、周りの人々の温かさが支えになり、何とかこれまでやってこられたという方も多くいらっしゃるはずですよ。

「絆」という字は、もとは牛や馬をつなぐ綱のことを指す言葉であったそうです。しかし、繋がりを表す「糸」と、分かちることができないという意味を持つ「半」との組み合わせであるという解釈も、現在の「絆」という字をよく表して私には好きです。

りんりんは、この震災を機に見直された「人と人のつながり」や、「困ったときはお互いさま」の理念を、遡ること18年前から実践してこられました。今や、赤ちゃんからご高齢の方まで、誰もが楽しく自分らしい時間の過ごし方ができる場所として根付いております。今、一番求められている「共助」の形であり、その住民福祉の向上への多大なご貢献に対し、厚くお礼申し上げます。

これまでの活動には、大変な情熱と体力が必要だったことと思います。村上 理事長を始め、スタッフの皆様の長年にわたるご尽力に心から敬意を表しますとともに、今後末永く、地域に愛される「りんりん」でありますことを祈念いたしまして、私からのお祝いのごことばとさせていただきます。



副理事長 渡邊千恵

平成13年から理事をさせていただいております。介護保険導入前から家庭的な雰囲気近所近所に遊びに来たようなデイサービスがあったらいいなあと思っていました。以前いっしょに働いていた理事の下村さんに相談をし、理事長の村上さんとお会いしたのがりんりん活動のきっかけです。当時は10名定員のデイサービスは市内ではほとんどなく手探り状態でしたが、幹事、理事、会員の方々にご協力いただき平成13年6月に開所することができました。1人から2人とご利用者が増え10月頃には定員に達することができ、ご利用者が笑顔で楽しく過ごされている姿を見て胸がいっぱいになった事は今でも忘れられない光景です。理事として何も分からない私でしたが、色々な事を体験し学び走ってきました。「あったらいいな」形にできるりんりんが夢を持つ人たちにつながっていくように微力ながら続けていきたいと思っております。



理事 市川幸夫 [特別養護老人ホーム瑞光の里・施設長]

りんりんの18周年おめでとうございます。  
私は日本福祉大学職員として半田キャンパスに勤務していた折、たまたま半田市生涯学習協議会で初めて村上代表にお目にかかったことが、りんりんのかかわりのきっかけとなりました。その後、NPO法人の取得や介護保険事業への参入をめぐる議論に加わりましたが、介護保険事業に取り組むか否か、当時りんりんの内部でも大きな議論となっていました。「助け合いの精神が揺らぐのではないか」、という意見や「専門性がもっと求められるのではないか」という不安もありましたが、「私たちがしたいこと」から「地域が必要としていることをしよう」という視点を皆で確認し、介護保険事業を始められました。ここに発展の原点があり、「助け合いの精神」という言葉は「地域のニーズやお困りごとに応え、自ら成長しよう」という活動の心を持つことになったと思います。介護保険は3年ごとに見直されその対応に苦勞するとは思いますが、「利用者・地域の視点」をしっかり継承していただきたいと思います。



理事 杉江義明 [半田市社会福祉事業団・理事長]

りんりんの設立18周年心よりお祝い申し上げます。歳月の過ぎるものは誠に早いものでりんりんが乙川の地を拠点として開設をしたのが平成6年その時の設立趣旨には介護家事等の手助けを必要としている人と援助できる人が共に会員となり対等な関係で助け合うことで地域に助け合いの輪を広げ誰もが安心して暮らす事の出来る街づくりに貢献すると有ります。真にこの事は現代社会に於いても大きな社会問題として取り上げられている事は御承知の通りです。りんりんは18年前に今日の社会を予測して来た事に敬意を表したいと思います。

以後特定非営利活動法人として高齢者社会、子育て支援、産後者の支援とあらゆるニーズに対応できる態勢づくりをし今日の発展につながっていると思っております。今後も益々りんりんの活動は期待が高まっております。今後のさらなる発展を祈りお祝いの言葉とさせていただきます。



## 理事あいさつ



理事 榊原 幸宏 [矢勝川の環境を守る会・会長]

りんりんのご縁は平成13年に岩滑区長になり、岩滑高山町にあった区民広場で挨拶させて頂いた事が始まりです。その後区長を辞めりんりんの理事になり深くかかわることになりました。岩滑区の防災訓練・童話の村秋まつり・道の駅・高齢者住宅の調査などを一緒に行って参りました。現在も「防災から安住のまちづくり」の事業を岩滑区、社会福祉協議会とりんりんで進めています。今後も今まで以上に地域社会と共に歩んでいただくことを願い、童話の村秋まつり、南吉生誕100周年の記念事業へのご協力よろしくお願いたします。りんりん誕生18周年誠におめでとうございます。



理事 下村 裕子

H16年12月、建ったばかりの事務所に、「マイデスク」「順番待ちをせずに掛けられる電話」が備わったその日は、それは感慨深いものでした。りんりん発足当初は、鉛筆1本からも持ち寄り、熱い思いをもって活動を続けられたことを思うと、身の引き締まる思いでした。

介護保険事業に参入してからは、制度に追い立てられるように毎日が過ぎた時期もありましたが、村上代表の「だめだと思ったら前には進めない」その信念は職員にも浸透し、りんりんが必要とされる存在へと育ててきたのだと思います。「あったらいいな」を実現させていく中では、いろいろ厳しい点もありますが、女性が家庭を持ちながらもそれぞれのペースで働ける(活動できる)場としての役割もできてきたように思います。

りんりんは、あっという間に18歳を迎えましたが、まだまだ未成年、これからもどうぞよろしくお願いいたします。



理事 市川 真由美

りんりんは子供を産み専業主婦になった私にやりたいことがあるならがんばってやろう。方法は考えよう、と温かく大きく迎え入れてくれたところです。子供を育てながらケアマネジャーという仕事は大変なようにも感じますが、本当に色々な人たちに助けてもらい今日に至りました。入った当時は3歳を間もなく迎えようとしていた上の娘も15歳になり0歳からりんりんで過ごした下の娘も10歳になりました。親子で育ててもらったと感謝しています。

恩返しにはまだまだ遠く、未熟な私ですが少しでも自分が体験した「あったらいいな」を他の人に渡していけたら、また繋いでいくことができればいいなと思っています。りんりんの思いを今後も繋いでいくそんなことができるように頑張っていきたいと思っています。

18周年を迎えお礼とともに今まで同様ご支援をよろしくお願いいたします。

## 監事あいさつ



監事 高木 宏 [税理士]

監事の竹内氏のご紹介でりんりんを知りました。ここまで盛大にされたことに敬服しています。健全経営で素晴らしい。堅実にやっておられるから、これからも今までと同じ方向でよいでしょう。政府の方針がどうなるか判らないが、これからも需要は伸びると思います。



監事 竹内 佐多夫 [株式会社松坂屋商店・代表取締役]

りんりんが設立されてから18周年を迎えられ誠にお目出とうございます。私が個人的にご縁が出来たのは、平成9年に家内の世話で苦勞をしていました頃に、知人から信頼できるグループがあるという紹介を受けたのがきっかけでした。引き続き母の介護をお願いし、長い間家族でも及ばない行き届いたお世話をさせていただきました。平成11年NPO法人となり監事をお引き受けしてから毎年調査をしていましたが、その必要を感じさせない的確な処理をしていただきました。21世紀は、未曾有の長寿社会が到来し国の財政からも負担増加が懸念されています。どうか輝かしい実績を守り、時代の要請に応じてご活躍くださいよう願いたします。



# NPO法人「りんりん」のあゆみ

1994年 H6 5月18日 **ひとり暮らし高齢男性の生活支援を7人の女性でスタート**

9月 3日 乙川北側町に事務所開設

12月18日 任意団体「半田市在宅介護・家事援助の会りんりん」設立総会

1996年 H8 11月30日 石川あずささん チャリティコンサート開催

1999年 H11 8月 2日 **「NPO法人りんりん」登記**

12月11日 事務所を岩滑高山町4丁目に移転 事務所内託児所開設

2000年 H12 4月 1日 **指定訪問介護事業・居宅介護支援事業スタート**

2001年 H13 6月 1日 指定通所介護事業「デイサービスりんりん」スタート

2002年 H14 7月 1日 指定通所介護事業「青山デイサービスセンター」スタート

2003年 H15 4月 1日 障がい者支援事業スタート

8月 1日 青山デイサービスセンター廃止

2004年 H16 12月12日 **事務所を岩滑高山町5丁目に新築移転**

2005年 H17 4月 1日 福祉有償運送スタート

5月10日 「生き生きサロン」スタート

2006年 H18 6月 1日 **指定通所介護事業「デイサービスやなべ」スタート**

10月 1日 上、障害者の受け入れスタート

2007年 H19 4月 1日 産後期支援ヘルパー派遣事業(半田市の委託)スタート

7月 1日 昭和喫茶(特養瑞光の里の委託)スタート

2008年 H20 4月 1日 **学童保育「りんごクラブ」スタート**

9月23日 **第1回童話の村秋まつりに参加**

12月20日 「りんごハウス」完成

2009年 H21 4月 1日 地域支援事業「おでかけサロン」(市の委託)スタート

9月23日 第2回童話の村秋まつりに参加

9月30日 福祉有償運送 廃止

2010年 H22 4月30日 「デイサービスやなべ」厨房リフォーム

7月 1日 **多世代交流スペース「りんりん茶屋」オープン**

9月23日 第3回童話の村秋まつりに参加

2011年 H23 4月 1日 第4回童話の村秋まつりに参加

10月 1日 **「地域が連携して進める見守り社会実験(日本生命財団助成事業)を二年半にわたり岩滑区・りんりん・社協と連携して取り組みを開始**



活動の歴史

1



1994年12月18日

半田市在宅介護・家事援助の会 りんりん設立総会  
雁宿ホールにて

1995年1月29日

半田市在宅介護・家事援助の会 りんりん発会式  
雁宿ホールにて

発会式の会場では、会員手作りの切干大根などの販売を行い、  
売り上げ金を阪神淡路大震災の被災地へ送りました。



東海市のふれ愛 理事長 佐々木幸雄さん



初めてのご利用者 石川積男さん

エプロンや封筒に  
ついている、  
りんりんの小鳥と文字は、  
お地蔵さんの絵で有名な  
丹羽善久さんが発足にあたりプレゼント  
してくださったデザインです。



1994年9月3日

りんりん最初の事務所を開設  
乙川北側町  
何も無いところから電話を設置し、  
活動の拠点ができました。



1995年9月22日

お月見会  
このお月見の会は協力会員と利用  
会員との交流として毎年行われま  
した。



活動の歴史

2



1996年4月

花見の会 雁宿公園内ピア雁宿にて



1997年9月

月見の会 雁宿ホールにて



1999年9月18日

法人を祝う会 雁宿ホールにて  
たくさんのご利用者の声に背中を押  
され、りんりんが市内で初のNPO法人  
を取得しました。



1999年12月

事務所を岩滑高山町4丁目に移転  
2階建ての事務所には、託児ルームも  
設けられ、2階は介護保険事業所として  
新たにスタートを切りました。





# 活動の歴史 3

**2000年4月**  
介護保険制度が始まり、訪問介護事業、居宅介護支援事業をスタート

下表を見ると2000年活動状況でたすけあいの活動時間が減っているのが分かります。これは今までたすけあいを利用していただいていた会員が、介護保険の対象となったためです。

活動状況	協力会員	利用会員	派遣時間	派遣回数
2000年3月 たすけあい	184	176	3284	979
2000年4月 たすけあい	160	104	2205	542
			介護保険	1443



**2001年6月1日**

デイサービスりんりん 開所 家庭的な雰囲気を大切にした定員10名のデイサービスを開所しました。



**2001年11月10日**

**ふわりんまつり**  
岩滑高山町児童遊園・りんりん事務所にて  
NPO法人ふわりとりんりんが協同して岩滑地区の皆様を対象とした交流会を開催しました。公園では1芸大会、ゲームコーナー、模擬店などを行い、りんりん事務所では、琴演奏やお抹茶コーナーなど多彩な催しものが繰り広げられました。地域の方々、会員、子供連れのご家族など、たくさんの参加があり大変にぎやかなイベントでした。



# 活動の歴史 4



**2000年~2002年**

**ふれあいいりりん**  
事務所の和室を利用して、月に1回会員や地域の方々を対象にお楽しみ会と食事会を開催していました。



**2002年6月22日**

**おらトリオコンサート**  
NPO法人認証3周年、デイサービスりんりん1周年を記念して、おらトリオコンサートを開催しました。老若男女340名が来場した会場では、デイサービスりんりんのご利用者が作ってくださった看板が一段と目をひいていました。



**2003年7月26日**

**であいふれあいコンサート**  
ギタートリオ「杜」と男性カルテット「クレッシェンツ・フォー」の演奏と歌声を楽しみました。



**2002年~2004年**

**ふれあいいりりんバスツアー**  
ふだんなかなか外出できないご利用者に楽しいひとときを…とりんりん会員の交流会として始めたイベントです。なばなの里、南知多、げんきの郷など大型バスを貸し切っているところへお出かけしました。



**2003年4月1日**

**障がい福祉サービス**  
スタート



活動の歴史 5



2004年12月12日

事務所を岩滑高山町5丁目に移転  
 念願の事務所を新築し、ヘルパーの研修会、新年会などが行えるようになりました。



2005年5月10日

生き生きサロンスタート  
 地域ふれあい事業の一環として、食を通して生きがい作り、仲間づくりの場を提供する昼食会を始めました。ひとり暮らしの高齢者の交流の場となっています。



2006年6月1日

デイサービスやなべ 開所  
 事務所の1階ホールに 短時間（10時～13時15分）のデイサービスをオープンしました。開所当時は水曜日と金曜日でしたが、現在は月曜日から金曜日まで営業しています。



2005年～2006年

防災訓練「防災で広がる地域の輪」  
 2004年から地震・耐震・防災などの研修を行っています。  
 2005年は介護付きミニ避難所開設の訓練として、りんりんのご利用者や、協力会員、賛助会員が参加しました。  
 2006年は非常用持ち出し袋の中身点検・簡易トイレの作製をしました。



活動の歴史 6



2007年4月1日

産後期支援ヘルパー派遣事業（半田市委託）開始  
 活動当初から産前産後のお母さんをサポートしていましたが、それまでの実績が認められ、半田市から委託を受けることになりました。



2007年4月1日

学童保育所りんごクラブ（半田市委託事業）開始  
 放課後のお子さんに安心できる居場所を提供し、働く親御さんのサポートを始めました。  
 12月には事務所敷地に隣接して、りんごハウスを設置しました。



2007年7月1日

昭和喫茶（特別養護老人ホーム瑞光の里委託事業）開始  
 施設のご利用者やご家族、地域の方に飲み物の提供をする喫茶の運営をはじめました。



2008年9月23日

第1回童話の村秋まつりに参加  
 彼岸花とごんぎつねのふるさと岩滑地区で地域の人たちと共に秋まつりを盛り上げようと、作品展と同時に絵手紙・さをり織りの体験教室や、フリーマーケットなどを開催しました。





活動の歴史  
7



2010年7月1日

りんりん茶屋オープン

地域の方が気軽に交流できる、仲間づくりや生きがいづくり、癒しの場を提供するりんりん茶屋が事務所敷地に隣接してできました。オープン当日はチームGONのみなさんがダンスを披露してくださいました。



2009年9月23日

りんりん作品展・童話の村秋まつり  
お休み処“ごえん”

童話の秋まつりの期間、古民家をお借りしてお休み処を設けました。たくさんのボランティアがお手伝いしてくださいました。

2010年9月23日

りんりん作品展・童話の村秋まつり



2011年9月23日

りんりん作品展・  
童話の村秋まつり

りんりん茶屋では、彼岸花を見に来た人がうどんを美味しく召し上がっていました。



現在の  
りんりん  
活動の様子



たすけあい



スポットサービス※1



生き活きサロン



小物づくり



訪問介護



デイサービスりんりん



デイサービスやなべ



さをり織り



絵手紙教室



見守り社会実験※2

※1 / 介護保険だけでは対応できないことをお手伝いして在宅生活を支えるためのサービスを行っています。  
(介護保険の認定を受けた方対象)

※2 / 岩瀬区が日本生命財団より助成を受けた高齢社会先駆的の事業にりんりんも参加しています。



現在の  
りんりん  
活動の様子



障がい福祉サービス



ケアマネジャー



大学生研修受け入れ



親子deランチ



りんごクラブ



ヘルパー研修会



会員研修



りんりん茶屋



新年会

# NPO

## ってなあに?

NPOとは英語の

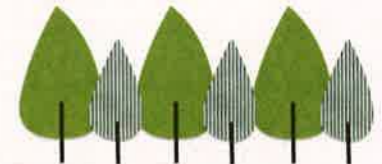
ノン(非) プロフィット(利益) オーガニゼーションズ(組織)

## Non-Profit-Organizations

の略です。

広い意味では政府や自治体も含むので、「民間非営利組織」と訳されます。1998年3月25日、特定非営利活動促進法(NPO法)が公布されてから今年で満14年になります。特定とは、下記の17分野を指します。

- ① 保険、医療または福祉の増進を図る活動
- ② 社会教育の推進を図る活動
- ③ まちづくりの推進を図る活動
- ④ 学術、文化、芸術またはスポーツの振興を図る活動
- ⑤ 環境の保全を図る活動
- ⑥ 災害救援活動
- ⑦ 地域安全活動
- ⑧ 人権の擁護または平和の推進を図る活動
- ⑨ 国際協力の活動
- ⑩ 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
- ⑪ 子どもの健全育成を図る活動
- ⑫ 情報化社会の発展を図る活動
- ⑬ 科学技術の振興を図る活動
- ⑭ 経済活動の活性化を図る活動
- ⑮ 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
- ⑯ 消費者の保護を図る活動
- ⑰ 前各号に掲げる活動を行う団体の運営または活動に関する連絡、助言または援助の活動



## 特定非営利活動ってなあに?

上記の活動を通して団体が得た利益(収入-必要経費)をメンバーに配分しないで社会変革や課題解決のために使う活動をいいます。非営利という言葉から「儲けてはいけない・利益が出てはいけない」と誤解されますが、事業を継続、発展させるためには利益を出すことが必要です。



(2012年1月現在)

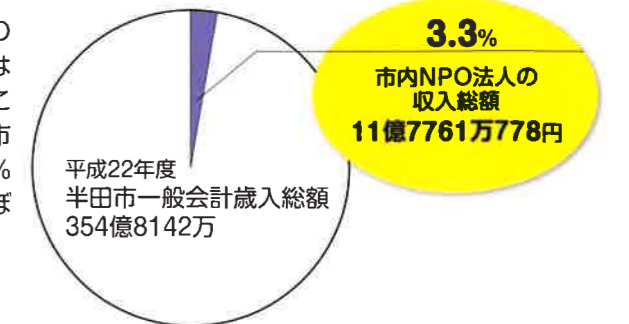
# 半田を 元気にする NPO



申請 受理番号	認定年月日	団体名 (特定非営利活動法人は省略)	主な活動分野日	収入総額 (2010年度)
1	8	1999/ 7/ 7	りんりん	保健・医療・福祉 135,411,180円
2	17	1999/ 9/ 1	ベタニアホーム	保健・医療・福祉 193,371,682円
3	41	2000/ 2/17	孝行の会	保健・医療・福祉 22,348,662円
4	48	2000/ 3/24	ふわり	保健・医療・福祉 17,122,508円
5	131	2001/10/26	菜の花	保健・医療・福祉 92,873,304円
6	152	2002/ 2/ 8	ひだまり	保健・医療・福祉 26,909,047円
7	173	2002/ 4/26	東海水質・環境研究会	環境保全 115,071円
8	213	2002/ 9/12	ばお	子どもの健全育成 1,309,924円
9	222	2002/10/ 1	生活支援センターわたぼうし	子どもの健全育成 48,931,105円
10	223	2002/10/17	プレマクラブ	男女共同参画 265,078,035円
11	252	2002/12/17	ソシオ成岩スポーツクラブ	学術・文化・芸術 66,669,918円
12	268	2003/ 2/12	NPOシニアPCマザーズ	社会教育 1,937,913円
13	323	2003/ 6/17	愛知環境土木技術者の会	環境保全 104,051円
14	494	2004/ 4/19	つみき福祉工房	保健・医療・福祉 112,952,145円
15	567	2004/ 9/30	ヒューマン・コミュニティー	保健・医療・福祉 440,129円
16	638	2005/ 2/14	おむすび	保健・医療・福祉 15,981円
17	660	2005/ 3/18	toピア	保健・医療・福祉 8,841,625円
18	864	2006/ 3/23	CLUB21	学術・文化・芸術 360,000円
19	934	2006/ 7/26	エンド・ゴール	社会教育 59,795,934円
20	975	2006/ 9/29	るいこん	保健・医療・福祉 28,045,891円
21	1079	2007/ 5/25	日本整体師養成協会	保健・医療・福祉 0円
22	1169	2008/ 1/25	知多地域成年後見センター	保健・医療・福祉 34,100,044円
23	1283	2009/ 1/30	ぱれっと	社会教育 703,179円
24	1318	2009/ 4/24	共育ネットはんだ	子どもの健全育成 1,308,555円
25	1399	2009/11/26	イカオ・アコ	環境保全 19,639,804円
26	1442	2010/ 3/ 9	半田市観光協会	経済活動 39,225,091円
27	1588	2011/ 3/25	もりもり後見センター	人権擁護・平和推
28	1620	2011/ 7/15	どりーむハウス	子どもの健全育成
29	1635	2011/ 8/26	虹の会	職業能力・雇用機
30	1694	2012/ 1/13	半六コラボ	まちづくり

30団体の収入合計 **1,177,610,778円**

上記の表に基づく市内NPO  
法人の収入総額の合計は  
1,177,610,778円です。こ  
の金額は平成22年度半田市  
一般会計歳入総額の3.3%  
で地方消費税交付金とほぼ  
同額です。





た…… たすけあう心で

す…… すべての人が

け…… けんこうで

あ…… あんしんして暮らせる

い…… いいまちづくり



## 特定非営利活動法人りんりん

### 事業一覧

- 自主事業 (たすけあい、スポット、地域ふれあい)
- 放課後児童健全育成事業 (りんごクラブ)
- 訪問介護事業 (ホームヘルパー)
- 産後期支援ヘルパー派遣事業 (半田市委託)
- 居宅介護支援事業 (ケアマネジャー)
- 多世代交流事業 (りんりん茶屋)
- 通所介護事業 (デイサービスやなべ)
- 昭和喫茶 (特別養護老人ホーム 瑞光の里委託)
- 障がい福祉サービス事業 (ホームヘルパー)

〒475-0962 愛知県半田市岩滑高山町5-4  
 電話.0569-21-3646 (代表) 電話.0569-32-6616 (介護保険専用)  
 FAX.0569-32-6623

E-メールアドレス npo@rinrin.or.jp  
 ホームページアドレス <http://rinrin.or.jp>

### •通所介護事業 (デイサービスりんりん)

〒475-0088 愛知県半田市花田町1-23  
 電話・FAX.0569-29-5554



### 編集後記

童話作家 新美南吉のふるさと岩滑(やなべ)にりんりんが在ります。  
 ごんぎつねの舞台となった矢勝川はすぐ北にあり、  
 土手には200万本の彼岸花が咲きます。  
 休耕田に咲く四季の花々は来訪者の心を癒してくれます。  
 こうした景観は「矢勝川の環境を守る会」のみなさんの日頃の  
 ボランティア活動のおかげです。

### 特定非営利活動法人りんりん ~りんりんと市内NPO法人のあゆみ~



発行/平成24年3月31日  
 編集/りんりん18周年記念誌編集委員会  
 発行/特定非営利活動法人りんりん  
 〒475-0962 愛知県半田市岩滑高山町5-4  
 TEL.0569-21-3646(代表)  
 印刷/有限会社 一粒社  
 〒475-0837 半田市有楽町7-148-1  
 TEL.(0569)21-2130

この記念誌は半田市社会福祉協議会(はなちゃん助成金)より助成いただき作製しました。





# 18周年記念誌

